



第29回聖路加看護学会学術大会のご案内

テーマ「看護のダイバーシティを拓く

ー守る価値観と変える価値観ー」

学術大会長 野崎 真奈美(順天堂大学)



令和6(2024)年9月28日(土)、聖路加国際大学におきまして、聖路加看護学会第29回学術大会を開催いたします。このような伝統ある学会の学術大会の大会長を務めさせていただくことを大変光栄に思っております。今回のテーマは「看護のダイバーシティを拓くー守る価値観と変える価値観ー」としました。若い世代の看護師

のチャレンジが増え、働き方も多様になり、医療や教育への非医療職・営利団体の関与も増えました。また、超高齢社会やAIの進展により、看護の主要概念である「健康」「環境」「人間」の捉え方にも変化が生じています。このような状況下でも、看護の重要性は揺らぎませんが、看護の核を若い世代にどう伝えるかは課題といえます。

現行の看護学のあり方や価値観において、再検討すべき部分が見過ごされている可能性もあり、固定観念を揺り動かす時期にきているのではないかと考えます。

そこで、本会では、時代が変わっても守り続けるべき価値観と変えてもよい価値観を見直す機会にしたいと考えます。看護の核とは何か、そしてそれをどのように伝えていくべきかを問い直します。これらの議論を通して、多様な場で多様な働き方をする看護職による看護のダイバーシティの実現に向けての示唆を得たいと考えております。

現在このような趣旨を踏まえて、講演、シンポジウム、口頭発表やポスター発表等のプログラムを企画し、ポストコロナ時代として現地開催に向けて鋭意準備を進めております。対面で活発な意見交換の場となることを期待しています。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



学術大会 HP

第 29 回聖路加看護学会学術大会のご案内

【開催概要】

会期:2024 年 9 月 28 日(土)

会場:聖路加国際大学

テーマ:看護のダイバーシティを拓く ー守る価値観と変える価値観ー

【参加募集・登録】

2024 年 4 月 8 日(月)～ 8 月 30 日(金)

【演題募集・登録】

2024 年 4 月 8 日(月)～ 6 月 14 日(金)

一般演題(口演・示説)卒業研究等の発表も可能

詳細は学術大会ホームページをご覧ください。

<https://x.gd/h8pTM>

プログラムの一部をご紹介します

◇特別講演

「変わらない看護の価値」

演者:菱沼 典子(聖路加国際大学名誉教授)

座長:野崎 真奈美(順天堂大学大学院)

◇シンポジウムA

「働き方の多様性について考える」

座長:松本 佐知子(日本赤十字看護大学さいたま看護学部)

シンポジスト:中村 富士美(市立青梅総合医療センター)

大平 智祉緒(株式会社Rings Care)

小平愛子・ミッシェル(Johns Hopkins Hospital)

◇シンポジウムB

「看護として残すものと手放すものとは何か、これからの看護教育を考える」

座長:小山田 恭子(聖路加国際大学大学院)

シンポジスト:八木 街子(自治医科大学看護師特定行為研修センター)

加藤木 真史(神奈川県立保健福祉大学)

西村 礼子(東京医療保健大学・大学院)

◇ミニ講座

「看護師が行う化粧ケアの実際」

演者:大平 智祉緒(株式会社Rings Care)

「地域医療における訪問看護師の可能性」

演者:饗庭 康太朗(株式会社Being TSUKASA訪問看護ステーション)

「XR(Extended Reality)の活用が看護学教育にもたらすもの」

演者:合田 友美(千里金蘭大学)

第 29 回聖路加看護学会学術大会事務局

順天堂大学医療看護学部

〒279-0023 千葉県浦安市高洲 2-5-1

Email:29slnr@gmail.com



2023 年度聖路加看護学会学術交流集会を開催しました

テーマ:健やかに働く ― カスタマーハラスメントと看護 ―

講師:島田恭子氏

一般社団法人ココロバランス研究所代表理事、

日本カスタマーハラスメント対応協会代表

東洋大学現代社会総合研究所客員研究員、精神保健福祉士

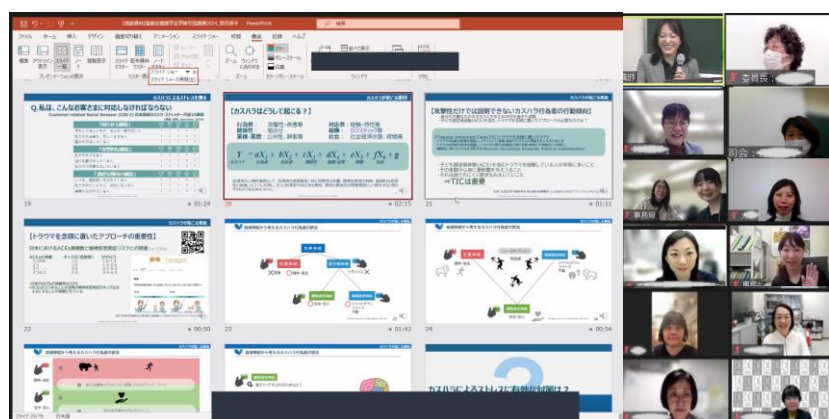
日時・開催方式: 2024 年 3 月 14 日(木) 18 時~19 時 50 分、オンライン開催

昨年度に引き続き、「健やかに働く」をテーマに在宅を含む看護現場で深刻な問題となっている「カスタマーハラスメント」を取り上げました。

看護師の多くは、ケアは相手を肯定し受け止め支える営みであって看護師は相手との信頼関係を築く努力をしなければならないという価値観を内在させています。理不尽な要求や暴力を「ハラスメント」としてとらえると、療養者を加害者として位置づけることになるため、どうしても私たちの中に葛藤が生じてしまいます。学術交流集会ではこうした思考を整理しケアの専門職としての対応を検討することのできる学術的な枠組みを学ぶことを目指しました。講師の島田氏は社会心理学、健康科学、予防医学などの先行研究からの知見やご自身の多様な社会実装研究を紹介しながらエネルギーにわかりやすく講演をしてくださいました。カスタマーハラスメントは、行為者(攻撃性、疾患等)、対応者(経験、特性等)、関係性、組織、業種・業態、社会(社会経済状態、時間等)の要因が複雑に関連しあって発生すること、行為者には子ども期逆境体験(ACE)を含むトラウマ経験者が多く、安全・安心を感じられる Trauma-Informed Care を念頭においた対応が重要であることが分かりました。

さらに、カスタマーハラスメント自体を無くすことは難しいけれども、私たちの個人資源(ex.心の絆創膏)と組織資源(ex.心理的安全性)を高めて豊かにすることで対応が可能になること、カスタマーハラスメントに取り組むことは、私たちばかりでなく療養者を含めた一人ひとりのウェルビーイングを目指す健やかな職場づくりの一つであることなど、貴重な学びを得ることができました。参加者は会員 33 名、非会員 12 名、合計 45 名で、アンケートからはおおむね満足を得られたことが分かりました。

学術交流委員会;吉田千文(委員長)、青木美紀子(副委員長)、鈴木美穂、佐藤直子、松本文奈、高橋奈津子、大森祥乃、牧野晃子



おめでとうございます

2024 年度看護実践科学研究助成基金

研究助成対象者決定

1. 研究代表者: Mugara Joseph Mahungururo (ムガラ ジョセフ ムフングルロ)

研究課題名: Evaluation of an Obstetric Triage Team Training incidences of the third delay to enhance timely treatment in a Tanzania Referral Hospital (タンザニア高次医療機関の適時治療遅延を改善する産科救急トリアージ・チーム教育プログラムの評価)

助成額: 28 万円

2. 研究代表者: 寺本健太

研究課題名: 地域共生社会の実現を目指した認知症本人の語りの動画教材作成の試みー当事者の体験の分析から

助成額: 12 万円

1 の研究は、タンザニアの母体死亡の減少をめざした助産師に対する教育プログラムを評価する研究であり、2の研究は、認知症本人の語りから地域共生を促進するための支援に向けた教材開発研究です。共に看護実践の向上と看護学の発展に寄与できる意義のある研究であると判断されました。

●研究助成を受けた研究の公表について

研究助成を受けた研究者は、定められた期限内に本学会学術大会での発表と学会への投稿が義務付けられています(看護実践科学研究助成基金研究助成細則)。本委員会では研究成果の公表状況を継続的にフォローアップしています。

学術交流委員会; 吉田千文(委員長)、青木美紀子(副委員長)、鈴木美穂、佐藤直子、松本文奈、高橋奈津子、大森祥乃、牧野晃子

プライバシーポリシー改訂のお知らせ

本学会では、2024 年 3 月にプライバシーポリシーを改定いたしました。

(<https://slnr.or.jp/privacy/>) 一部規定を見直し、個人情報等の利用目的の通知の求めがあった場合は本人に通知すること、および苦情申し立て先を明記しました。

令和 4 年度から、本学会のような学術研究機関にも民間事業者と同様の水準で個人情報保護法が適用されることとなりました。これを受け、日本看護系学会協議会からも、各学会において個人情報取扱規程などを整備するよう要請がされました。本学会はすでにプライバシーポリシーを制定しておりましたが、このたび必要な改定を検討いたしました。これまでも会員の皆さまからお気づかりした個人情報の適切な取り扱いと保護に努めていましたが、利用目的の通知請求に対する通知先や申し立て等に関する手続きを明記し、会員の皆さまの権利のより一層の明確化を図りました。

これからも、プライバシーポリシーをはじめとする規定を必要時に見直し、会員の皆さまの個人情報の保護に努めながら学会運営をしてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

(担当: 大久保暢子、西垣佳織、森田誠子)

会員からのメッセージ

安田 侑加さん

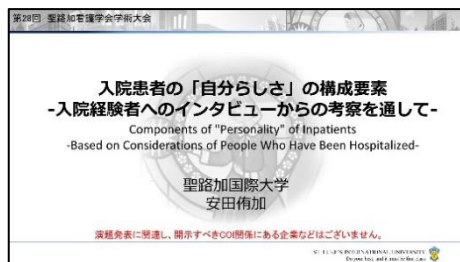
聖路加国際大学大学院 看護学研究科
公衆衛生看護学専攻 上級実践コース

「聖路加看護学会で卒業論文を発表した経験について」

はじめまして、私は、2023 年 3 月に聖路加国際大学を卒業し、2023 年 4 月に聖路加看護学会に入会しました。

現在は、保健師資格を取得するために本学大学院看護学研究科公衆衛生看護学専攻上級実践コースに所属しております。入会のきっかけは、卒業論文の発表です。卒業論文の指導教員である佐居由美先生にお声をかけていただき、卒業論文の学会発表に挑戦しました。録音での発表ではあったのですが、緊張し何度も噛んでしまったり、アニメーションのタイミングを忘れたり、単調に話しがちなので抑揚を意識したりと、何度も録音し直しました。発表公開期間では、どのような質問がくるかドキドキでしたが、無事終わることができてほっとしました。卒業論文執筆や学会発表を通して、探求心や好奇心を持って一つことのことをやり遂げること、自分の考えを伝えること、他の発表者の考えを聞き新たな学びを得ることが私は好きなんだと改めて実感しました。そのように気づかせてくださった佐居先生に改めて感謝いたします。

近況は、「ポピュレーションヘルス国際演習」という科目でアメリカのカンザス大学に行ってきました。健康格差及び地域格差の課題に取り組んでいる NPO 団体からお話を聞いたり、ホームレス支援を行っている NPO 団体とともに食事提供を行ったり、ルートを決めて地区踏査したりと、貴重な経験を通してグローバルヘルスや公衆衛生活動について学びました。現地では、メンバーと「食生活と高血圧の関連性：アメリカと日本との比較」について発表し、緊張しましたが無事に達成することができました。私の希望に応じて、特別支援学校で話を聞く機会を設けていただいたりと、他にも様々な方々と交流でき、視野が広がりました。今年が最終学年で実習や課題研究があるので、この高まっているモチベーションで頑張りたいと思います。



SLNR28thでの卒業論文の発表スライド



一緒に留学したメンバーと、カンザス大学のトレーナーを着て発表しました。(中央が安田さん)

■ 会計からのお知らせ

2024 年度も2カ月たちました。学会の各事業の計画も着々と進んでおります。6月の評議員会で報告されますが、2023 年度決算では、年会費納入率は近年最高の 87.9%でした。

皆さまのご協力ありがとうございます。

学会活動は皆様の会費により成り立ちます。学会も 30 周年に向けて動いておりますし、学術大会も 5 年ぶりに聖路加国際大学を会場として開催されます。学会誌もかなり投稿しやすいシステムに変化してきています。さらに活発な事業を展開していくために、今年度の年会費も早めにお支払いいただき、ぜひ学会活動にご参加ください。また、周囲の方に入会をお勧めいただけますと幸いです。

振込先：郵便振替口座
口座番号：00100-8-670371
加入者名；
一般社団法人聖路加看護学会

(担当 平林優子、小林真朝、亀田典宏)

■広報委員からのお知らせ

聖路加看護学会のホームページのアクセス状況

—2023 年 4 月 13 日～2024 年 3 月 31 日の分析—

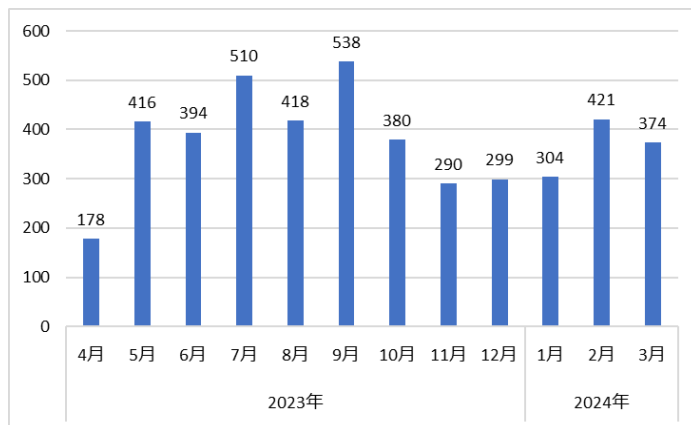


図 1：月別アクセス数 ※4 月は 13 日以降

Google Analytics に記録がある 2023 年 4 月 13 日以降、ホームページには合計 4522 のアクセスがありました。月別のアクセス数が図 1 です。期間全体で、月途中から使用した 4 月を除く 1 ヶ月当たりの平均アクセス数 394.9 でした。期間中最も多かったのは 9 月で、アクセス数が 538、訪れたユーザー数は 362、平均滞在時間は 1 分 14 秒でした。

また、2023 年 4 月から 2024 年 3 月まで、1 日当たりのユーザーは概ね 20 前後で推移していますが、10 月 10 日（火）は 1 日 53 件のアクセスがありました（図 2）。この期間のページごとの閲覧数で最も見られているのは「トップページ」（3437 回）で、次いで「学会誌」（1363 回）、「第 28 回聖路加看護学会学術大会」（1296 回）でした。



図 2：期間中（2023 年 4 月～2024 年 3 月）の 1 日当たりのユーザー数 ※4 月は 13 日以降

Google アナリティクス導入後ほぼ 1 年分のデータが得られたので、これを基礎データとしながら変動を確認し、より活用されるホームページを目指していきます。中でも「学会誌」と「学術大会」ページへのアクセスが多いため、この 2 つを中心に広く広報することに加え、その他の活動に関するアクセス数を増やすことで、会員の獲得および学会活動の強化を目指していきたいと思います。

（広報委員会 瀬戸山陽子）

■庶務からのお知らせ

新年度をむかえ、ご所属、メールアドレス、ご連絡先などが変更となった会員におかれましては、会員情報の変更を学会事務局までお知らせいただけますようお願いいたします。会員情報変更手続きには、学会ホームページの「変更届フォーム」をご利用ください。簡単に変更の手続きをしていただくことが可能です。

<https://slnr.or.jp/change/> または



また、これまで聖路加看護学会学術大会で発刊された抄録集で入手可能な抄録集は、全て聖路加国際大学学術情報リポジトリに登録し、聖路加国際大学図書館からのオープンアクセスができるように整備をいたします。過去の学術大会で講演や一般公演・示説などで発表を行い、抄録集に掲載のある会員方で、オープンアクセスを拒否されます方は、以下のメールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。

聖路加看護学会事務局 slnr@slcn.ac.jp

[編集後記]

今号が現行の7名の広報委員会が発行する最後のニュースレターとなります。ニュースレターを愛読してくださっている会員の皆様、原稿をお寄せいただきました皆様に感謝申し上げます。

本委員会では、これまで学会の広報として、HPの刷新、HPへのアクセスログの分析、学会ロゴの決定、学術大会での実践報告、プライバシーポリシーの制定、対象者別の「入会のご案内」の作成などに取り組んで参りましたが、これもひとえに皆様のご協力あってのこととございました。本当にありがとうございました。すべてオンラインで打ち合わせをしながらの委員会活動でしたが、心地よく楽しく活動することができました。



ニュースレター発行や様々な情報をメーリングリストでお伝えします。

メールアドレスが変更された場合は、
変更届フォームにて、<https://slnr.or.jp/change/>
学会事務局までご連絡ください

一般社団法人 聖路加看護学会ニュースレター No.65

▶ 発行：2024年5月31日

▶ 編集：広報委員会

(海老原樹恵 佐居由美 大橋久美子 賀数勝太 瀬戸山陽子 竹森志穂 松尾尚美)

▶ 連絡先：〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加国際大学内

[学会ホームページ] <https://slnr.or.jp/>

変更届フォーム

